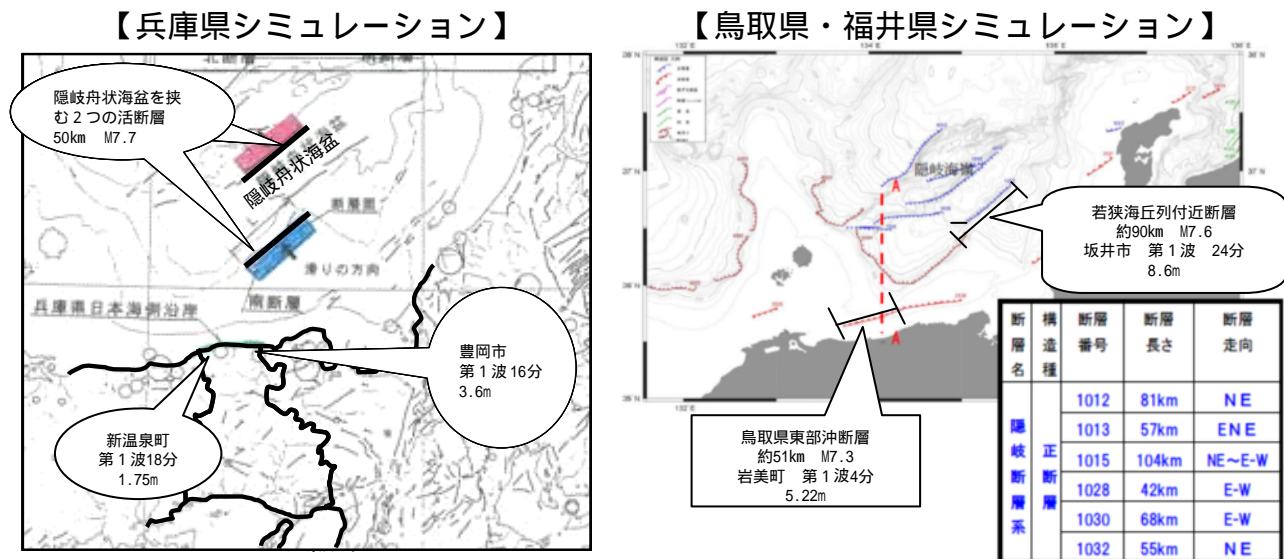


## 日本海沿岸の津波対策について（案）

## 1 背景

東日本大震災を受けて南海トラフでの地震発生の懸念が高まっている一方、日本海西部における津波の可能性は十分な調査が行われていない現状にある。

そのようななか、鳥取県、福井県が東日本大震災後に津波シミュレーションを実施したが、平成12年度に実施した兵庫県のシミュレーションと整合がとれておらず、日本海沿岸市町から津波対策充実の要請がある。



## 2 日本海沿岸津波対策の検討

- 地震災害対策計画専門委員会に「日本海津波検討部会（仮称）」を設置する。
- 同検討部会において、
  - 鳥取県、福井県のシミュレーションの評価・検証
  - 兵庫県日本海沿岸の活断層の評価(既往文献・調査データの分析 等)を行い、兵庫県としてのシミュレーションやり直しの必要性を検討する。
- 文部科学省は「日本海津波調査プロジェクト」(H25～32)で日本海沿岸の津波断層の調査を計画しているため、これに対する対応も併せて検討する。

課題・検討項目	
鳥取県	<ul style="list-style-type: none"> <li>中国電力資料に基づく鳥取県東部沖断層の特定（位置・延長）</li> <li>横ずれを縦ずれと想定</li> </ul>
福井県	H12 兵庫県の想定地震断層との違い
	<ul style="list-style-type: none"> <li>兵庫県の日本海沿岸の活断層の特定の可否</li> <li>県独自の津波シミュレーション実施の必要性</li> <li>実施しない場合は、津波対策のあり方、地元への説明方法の検討</li> </ul>

## 【参考】

### 鳥取県

- ・中国電力のデータをもとに、鳥取沖東部断層による津波をシミュレーションしている。
- ・鳥取県は、横ずれ断層を縦に動かして津波を発生させている。

#### 【鳥取県が津波シミュレーションに使った鳥取沖東部断層の諸元】

断層長さ (km)	モーメントマグニチュード Mw	断層幅 (km)	すべり量 (m)	傾斜角 (度)	走向 (度)	すべり角 (度)	断層上縁深さ (km)
51	7.3	15.0	4.24	90	262	40	0

### 福井県

- ・波源として選定された断層のうち、兵庫県に影響が及ぶと考えられるのは、「若狭海丘列付近断層」である。
- ・断層モデルは、「原子力発電所の津波評価技術」(2002年2月、土木学会原子力土木委員会津波評価部会)の考え方にに基づき、全ての断層について一律と仮定されている(この資料は原発評価用に最大水位上昇量を求めることを目的としており、津波高が最も大きくなる傾斜角(60°)が採用されている。)

#### 【福井県が津波シミュレーションに使った若狭海丘列付近断層の諸元】

断層長さ (km)	モーメントマグニチュード Mw	断層幅 (km)	すべり量 (m)	傾斜角 (度)	すべり角 (度)	断層上縁深さ (km)
90	7.63	17.32	6.43	60	90	0

### 文部科学省が実施する「日本海地震・津波調査プロジェクト」

#### 【「日本海地震・津波調査プロジェクト」の内容(H25～H32:8年間)】

##### 調査方法

反射法地震探査等を実施し、日本海付近の詳細な地殻構造を明らかにする。

##### 成果

- ・日本海の波源モデルの構築 ・内陸から沿岸までの震源断層モデルの構築
  - ・内陸地震、津波発生 of 長期予測の高度化
- \* 福井県沖から兵庫県沖を最初に実施。その後順次、北海道沖、鳥取県沖から九州沖の予定(文科省：聞き取り)